

□議員名：山田伸幸

1 新型コロナウイルス感染症対策について

論点	子どもの学び支援として就学援助制度があるが、前年所得が基準となる。今年のコロナウイルスの影響で所得が落ち込んでいる家庭が多い。今年度の所得も反映させるべきではないのか。
回答	新型コロナウイルス感染症の影響により家計の急変が生じた世帯に対しては、申請時の収入で判定する対応を行うことにより、必要な援助が行えるようにしたい。

論点	文科省は全国の教育委員会宛てに学校給食費を準要保護者に対する支援として、学校給食が実施されたこととみなして、給食費の支援をすることを認めているが、本市はどのような対応をするのか。
回答	臨時休業期間中の昼食支援は、保護者の支援になると考えて、私どもも併せて検討をしたが、経済的な理由で給食費の支払いや学用品などの購入が困難な児童生徒の保護者を支援するという就学援助制度の観点から、休業期間中の昼食費の支援は行わないこととした。

2 災害避難所について

論点	新型コロナウイルス感染対策を取り入れた避難所には、避難者間の仕切り板やテントの設置、段ボールベッドなどが必要だがどうなっているか。
回答	それぞれについて導入を検討しているが、よりよいものを研究していきたい。

3 保健師の体制強化について

論点	新型コロナウイルスの感染防止の観点から、市民生活・福祉を守る立場に立ち、さらなる保健衛生部門の強化が必要ではないのか。
回答	どこまでやるかということになるが、地域の方々も含め、現体制でしっかりと対応していきたい。

4 小野田中央青果(株)の破産申し立てについて

論点	小野田中央青果を破産させることは多くの関係業者を困らせ、中には6000万円以上の買掛金を踏み倒すことになった。多くの業者を不安に陥れたことについての市長の考えはどうか。
----	--

回答	市は、1000万円を出資しておりその範囲内での責任と考えている。
----	----------------------------------

論点	市長の意を受けた副市長が取引業者のところを訪問し、今後も引き続き取引をするよう話に行っているが、この事業者だけで6000万円を超える債務がある。市に大きな責任があるのではないのか。
回答	市場の開設者として市が引き続き開設を続けるという趣旨を述べた。

論点	昨年の株主総会で、「事業廃止を含めて検討」という特別決議を挙げている。まさに計画倒産ではないか。また、社長には市の職員を充てている。会社経営の経験のない人物を充てたこと自体からも言えるではないか。しかも、1億円程度の取引があった業者を前社長が告発したものを引き継いでいるがどうか。
回答	その件については承知していないし、民と民との関係であり、市は関わっていない。

論点	山陽小野田市が本当に中小業者を困らせるようなことをしない、そういう自治体であってほしい。そのために、もっと真剣に中小業者に対する責任を果たしてほしいと考えるが、今のままでは、市の信用は失墜していると言われてしまうがどうか。
回答	市は、50%の出資者であるので、出資者としての考え方がある。企業については、そこは取締役を含めて役員が協議を進め、最終的な決断をしたものだ。市の立場としては、中央青果は決していい形ではない。市場を正常化して、多くの関係者に従来の仕事をしていただく、環境整備をするという面においては、市のこれからの役割が重い。多くの方に企業として迷惑をかけていることは認めざるを得ない。